第3学年1組 国語科学習指導案

平成12年1月19日（水） 第5校時
多目的ホール
授業者 木村 治子

1. 単元名 昔をのことを調べて友達と伝え合おう

2. 単元について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、闊やかでおしゃれが大好きである。しかし、授業中、自分の考えを発表することになると苦手意識をもつ児童も多く、発言も特定の子どもに偏ってしまうことがある。そこで、順番に発表したり、書いてから発表したりするようにして、できるだけ多くの子どもが発言する機会を持つよう心がけている。

また、朝の会では日常が朝のスピーチを行っている。自分の体験をもとに話すことが多いが、1学期は全体的に短く、前に出てから考えながら話す子どももいた。2学期になり、簡単な文章構成の枠を印刷したプリントを用意し、話を内容を書いてからスピーチをするようにした。くわしく話せるようになかったが、原稿を読んでもらう子どもがほとんどだった。10月に国語の授業「わたしのニュース」でメモを作って、友だちを見て話すことを学習した。その学習の後、ようやくメモを作って友達の方を見てくわしく話せる子どもが増えてきた。

聞き方では、話を聞いてどんな内容か簡単に書いたり、話し方を評価したりするカードをつけるようにした。しかし、友だちを見て真剣に聞けない子どもがいたり、仲の良い友だちかどうかでカードをつけたりする子どもがいたりで、まだ、十分とはいえない。

また、社会科や理科などでも、個人やグループで課題を解決するために、体験したり調べたりする学習を積極的に行っている。しかし、お互いの思いを深め、広げ合う発表の場面では、時間を利用して調べたことも、十分に聞き手に伝わらないことが多い。

そこで、本単元では昔のことをテーマにして、調べたことを伝え合う学習を設定した。昔のことに関しては、2年生で実際に体験したことや、子どもの生活に一番密着している「遊び」に対する関心が最も高い。また、2学期に行った社会科見学では、民家園に行き、昔の道具を使った体験学習を大変喜んで行っていた。地域の方の協力も得られる本単元も楽しく積極的に取り組んでいきることと思う。

(2) テーマとの関連

研究主題「自ら学びとり、心豊かに表現する子どもの育成」
副題「自分の思い出を伝え合い、考えを深めていく子」
学年のめざす児童像「友だちの意見と比べながら聞き、自分の学業で表現できる子」
本単元を学習するにあたって、2つの視点に基づいた手続きを次のように設定してみた。

<table>
<thead>
<tr>
<th>視点</th>
<th>1</th>
<th>視点</th>
<th>2</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>相手意識・目的意識をもって進んで学習する場の工夫</td>
<td>話し方・聞き方・話し合い方を身に付ける工夫</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

【手だて１】学習形態の工夫
①学年を調べることが同じ4つのグループに分け、グループごとに話を聞いたり本で調べたりする。担当もそれぞれのグループを担当し、学年T・Tで個に応じた助言をしていく。
②昔のことを調べることをそれぞれ1つに絞り、そのことをしっかり調べまとめていく。また、調べることの違う子とグループを作り、その子から情報を得る。事前に、自分が選んだもの他のに、興味関心があることを調べておき、それを踏まえてグループ編成することにより、相手意識、目的意識をもって発表することができる。
③アドバイザーとして地域の方に各コーナーにいてもらい、分からないことは聞いて、友だちに伝えることができるようになる。また、体験を手伝ってもらうなど、地域の方との交流を図り、インタビューをしたり大切なことを聞き取る学習もしたりする。

【手だて２】教材の開発や題材設定の工夫
①「たこたこあがれ」を学習し、昔のことに対して興味関心を高める。さらに、自分で調べたい昔のことを調べ、それを伝え合うことで理解をより深め、社会科の授業へと発展していく。
②昔のことを調べることを通し、地域の方や自分の祖父母にも昔のことを語ってもらい、言葉を通しての交流を図ることができる。

【手だて３】発達段階に応じた基本的な話し方を身に付ける
①話し方・聞き方のポイント示し、意識して話したり聞いたりできるようにする。
②話し方聞く人の方を見る。
③順序よく。
④分かりやすく。

【手だて４】話す力・聞く力・話し合う力を付けるためのメモの活用
①メモを作る前に、調べたことを相手に分かりやすく伝えるため、段落相互の関係に気をつけて文章にまとめ、筋組織を立てて発表できるようにする。
②絵、大切な言葉、はじめの言葉を書く等、自分に合ったメモができるよう、用紙を何種類か用意し（資料3参照）選ばせる。
【手だて5】学習指導に生きる評価方法の工夫
①調べたことが互いに異なるメンバーでグループを作り、そこで発表し合い、大事なことが落ちていないか分かりやすく話しているかなど意見を出し合う。
②評価カード（資料4）を用意し、話の中心（分かったこと、今と比べてのことなど）に迫る質問や感想が言えるようにする。
③支援計画（各コーナーに行くグループの補助簿）を立て、一人一人に応じた適切な声かけや支援ができるようにする。

（3）単元の目標
（1）昔のことに関心を持ち、調べたことを進んで話したり、真剣に聞いたりする。
（関心・興味・態度）
（2）自分で調べたことを話の順序を考え分かりやすく友達に話したり、大事なことを落とさないように聞いたりすることができる。
（表現・理解）
（3）相手を意識した伝え合いができるように言葉遣いや声の大きさ、発音に気をつけて話すことができる。
（言語）

（4）単元の構想
21世紀を生きていく子どもたちにとって、自分の思いを的確に表現し、相手の考えを正確に理解する言葉の能力を身に付けることが、ますます求められている。そこで、本校では国語科を中心に各教科・領域等においても、話したり聞いたりする学習に取り組んでいる。本学習では、音声言語能力を高めていくためビデオ等の教育機器を活用したり、毎日のスピーチを交代で行ってきておりしている。

本単元においては、まず「たこたこあげ」で昔から伝わるたこあげの遊びを通して、昔の人々の願いなどを絵んでいった。その後で、さらに昔のこと調べてみたいという子どもたちの思いを生かし、実際に話を聞いたり本で調べたりすることにした。昔の話を聞くにあたり、祖父母が近く離れた地に住んでいる子どもが多いことや、自分が住んでいる地域の昔の様子を知る目的も、地域の方に協力してもらい話を聞くことにした。調べるためには、自分が興味・関心があることとを調べ、さらにまとめていくので、調べたいこととは子ども達一人一人の意志で一つだけに絞った。そのため、他の調べたいことについては、友だちから聞くことにし、調べたことの異なる子ども同士でグループを作り、伝え合う学習を展開していく。

伝え合う力を高めていくためには、本校の研究の視点1に掲げられているように、相手意識、目的意識を持ち、話したり聞いたりすることが大切である。そこで、調べることは一つに絞ったが、他にどんなことを調べたかかったか事前に調査し、グループを編成していく。聞きたいことを話してもらうことにより、話し手にも聞き手にも相手意識、目的意識がもって真剣に伝え合いができると考えた。

調べる学習では、学級の枠を取り払い、各クラスの調べたいことが一緒の子どもを一つの教室に集め、担任もそれぞれ分担して指導にあたった。このことにより、担任も資料集めが
しやすくなり、内容の理解も深められ、子ども達個々への助言もしやすくなった。子ども達もお互いの情報交換ができ、新鮮な気持ちで他のクラスの子どもと協力し合うことができるように变化している。また、違う教室で調べているので、他の所ではどんなことを調べているのか関心も高まぶり、伝え合いを楽しみにしている。

こうして調べたことは、まず段落相互の関係を工夫して文にまとめ表現する。そして、メモを作って、友だちのちょっと自分、自分の言葉で分かってもらえるように伝えよう。聞く方も大事なことを聞き漏らさないように真剣に聞き、分からないことは質問したり感想を言ったりする。このように言葉を通して話し手と聞き手の相互の交流を図っていく。このことが、3年生としての「要點を踏まえつつメモをもとに話し・聞く」力を高めていき、学年のめざす「自分の言葉で表現できる子の育成につながるものと考えた。また、国語の授業で学れた言語能力が他教科等においても、自分が調べたことや考えたことを的確に友だちに伝えたり文章に表現したりすることが役だっていくものと思う。

３．単元の指導計画

<table>
<thead>
<tr>
<th>時</th>
<th>主な学習活動</th>
<th>留 意 点</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>○学年で調べたいことに分かれ、昔のことは調べ方を話し合う。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・昔使っていた道具</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・昔の遊び</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・昔の身につける物</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・昔の食生活</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・各クラスで希望を聞き、調整して4つのグループに分けられ、担任も分かれて指導にあたる。 （手当て1－①）</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>○昔のことを本で調べる。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>・調べたい課題が決まらない子どもには他のクラス</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
○昔のことを地域の方に教えてもらう。
  ・話を聞く
  ・体験する

○調べたことをまとめる。
  ・文を書く
  ・メモを作る
  ・発表の練習をする

○４人組のグループを作って自分があなたのことを伝え合う。

の子が調べることを紹介したりして支援する。
・４つのグループ別に資料を揃え、選びやすいようにする。社会科で体験することから、体験しやすいものをなるべく選ぶよう助言する。
・地域の方とは、事前の打ち合わせを十分にして話していたいただく内容をお願いしておく。
・大事なことをメモしながら聞き、自分が説明できるように分からないことはたくさん質問させる。
（手だて3－②）
・実際に使い方や遊び方を体験し、今との違いや工夫したい点などを見つけるようにする。
・聞き手に分かりやすく自信をもって説明できるようにするために原稿を書かせる。原稿の形式は担当用意し、まとめやすい形式を子どもに選ばせる。
（手だて4－①）
・説明する順番や気を付けることは話し合っておく。
＜順番＞はじめの言葉　（手だて3－①）
  調べて分かったこと
  今と比べて
  工夫していることや起き
  終わりの言葉
＜気をつけること＞
  わかるように
  順序に気をつけて
  言葉の使い方
・相手を意識し、相手が分かるように説明するために実際にやって見せたり実物を使ったりさせる。
・メモを作り、相手を見て話すことができるように練習させる。
（手だて3－③）
・子ども達の原稿やメモは、担当している教師が助言するが、担任も自分のクラスの子供のものは目を通すようにする。
・地域の方にアドバイザーとしてついていただき、わからない質問が出た時支援していただく。
（手だて2－③）
・うまく話せない子は事前につかんでおき、支援できるようにする。
（手だて5－③）
・自分のことや友達の発表を評価カードにつけ、聞き手も質問したり感想を言ったりしやすくする。
（手だて5－②）
4. 本時の学習指導（7/7）

（1）目標
・自分が調べたことを友達に分かってもらえるように、友達の方を見て話すことがで
きる。
・友達の話を聞いて、分からないことを質問したり自分の感想を話したりすることが
できる。

（2）展開

<table>
<thead>
<tr>
<th>学習活動</th>
<th>学習内容</th>
<th>指導上の留意点（〇）と評価（☆）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 本時の学習課題を知る。</td>
<td>学習課題</td>
<td>3'</td>
</tr>
<tr>
<td>おじいちゃん、おばあちゃんが小さかったこと —— 調べたことを友だちとつたえ合おう ——</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 2. 調べてきたことを分かりように伝えるために気をつけることを想起する。 | 話し方
・聞く人の方を見て話す
・ちょうどよい声の大きさ
・はっきり、ゆっくり
内容
・順序よく
・わかりやすく | 話し方と内容について想起させる
〇話し方と内容について想起させる。
〇説明して確認させる。
（手当て：3－①） |
| 3. よい聞き方について考える。 | よい聞き方のポイント
・相手を見て
・一生懸命聞く
・質問ができる
・分かったことが言える
・感想が言える | 良い聞き方は、話ししたり感想を話したりできる聞き方であることをおさえる。
〇良い聞き方は、質問したり感想を話したりできる聞き方であることをおさえる。
〇よい聞き手は、態度だけでなく分かったこと、感想を聞くことが大切であることを押さえる。
（手当て：3－②） |
| 4. 4人組になって発表し合う。 | よい話し方、聞き方ができるように発表する。
ひとりの発表の時間は7分
4つのコーナーへ行って発表する。 | 各コーナーにアドバイザーとして
地域の方にいてもらう。その後を紹介する。
〇各コーナーにアドバイザーとして
地域の方にいてもらう。その後を紹介する。
〇ひとりの持ち時間は7分で、その
間に説明、評価カードをつける、
質問や感想を言う。また時間は実際に体験してみる。
〇7分だった音楽を30秒かけ、
その間に次のコーナーにグループで移動する。 （手当て：1－②） |
5. まとめをする。

- 分かりやすく話してくれた子どもや、たくさん質問できた子どもを発表する。
- 地域の方の感想を聞く。

6. 次時の予告を聞く

○質問で分からないことは、地域の方の助けを得てよいことを知らせる。
（手だて②）
○質問が出ないときは、教師も一人の聞き手として質問する。
（手だて③）
○うまく説明できない子には、そのグループに行き支援する。
（手だて③）
○発表が終わったグループは、地域の方にも手伝ってもらい体験してみる。
☆友達の方を見て分かるように話ししたり、選んで質問したりできたか
（観察・評価カード）

5. 備考

（1）在籍児童数  男子18名  女子14名  計32名
（2）地域の方の協力  アドバイザーとして各コーナーに1名（遊びは2名）ずつ5名の方に協力していただく。
（資料 1）調べるときのプリント

<table>
<thead>
<tr>
<th>調べた道具</th>
<th>なぜ調べようと思ったか</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>調べた道具</th>
<th>なぜ調べようと思ったか</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>女の子の名</th>
<th>今の道具と比べて</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>くうしていること</th>
<th>聞きたいと思ったこと</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>くうしていること</th>
<th>聞きたいと思ったこと</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>彼の名前</th>
<th>聞きたいと思ったこと</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>彼の名前</th>
<th>聞きたいと思ったこと</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

昔の遊びについて調べよう

<table>
<thead>
<tr>
<th>話の内容について調べるの：</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>話の内容について調べるの：</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>散わり</td>
</tr>
<tr>
<td>--------</td>
</tr>
<tr>
<td>これで</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>散わり</th>
<th>など</th>
<th>ない</th>
<th>ながし</th>
<th>こがり</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>これで</td>
<td>のことについての発表を終わります。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>散わり</th>
<th>など</th>
<th>ない</th>
<th>ながし</th>
<th>こがり</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>これで</td>
<td>のことについての発表を終わります。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
（資料 3）発表のためのメモ用紙

（資料 4）評価カード
1回目の発表は上図のようになり、その後は1つずつつづけていく。

〈食べ物のコーナー〉
1班…発表は、あまり心配ないが、発表後の意見の伝え合いの様子を見て思ったことが言えるよう声かけをする。
2班…1、2回目の発表の子どもが振りかかげるので、かんぱるよう励ます。よいところをたくさん見つけるように声をかける。

〈着る物のコーナー〉
6班…話すことが得意な子どもが集まっている。ふざけないで、話し手を見つかり聞くよう指導する。
7班…おとなしい子どもが集まっている。発表後に言ったことが言えるように励ます。

〈道具のコーナー〉
2班…4回目の着る物の発表の子どもの時は、ゆっくり話すよう励ます。また、しっかり聞くよう指導する。
3班…友だちのよいところをたくさん見つけて言ってあげるよう声をかける。

〈遊びのコーナー〉
5班…発表後、それぞれが自分の思ったことが言えると思うので、よく聞いて分かったことやよいところをたくさん言ってあげられるよう声をかける。
4班…男子があまりはっきりした話し方をしないので、はっきり話すよう指導する。
<table>
<thead>
<tr>
<th>月</th>
<th>単元名「教材名」</th>
<th>時数</th>
<th>音声言語の指導内容</th>
<th>学習活動（聞く・話す）</th>
<th>日常の取り組み</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>4</td>
<td>○本と出会う、友だちと出会う 「ガイアン」 「場面の様子から」</td>
<td>3／9</td>
<td>閲き手に人物の気持ちが分かるように音読させる。</td>
<td>二人組、グループ等で役割を決め、読み合う。</td>
<td>・朝のスピーカー「わたしたしのニュース」音読の練習</td>
</tr>
<tr>
<td>5</td>
<td>◎(電話で約束)</td>
<td>4／4</td>
<td>よく聞き取れなかったことや分からないことは聞き返し、話の内容を正確にメモにまとめさせる。</td>
<td>話の要点や中心点をメモを取りながら聞き取る。相手の立場や状況に応じて、話したり聞くたりする。感想を書き込み、話し合う。詩の音読発表会をする。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>6</td>
<td>○「春のうた」</td>
<td>1／2</td>
<td>言葉のリズムが作り出す調子の良さを生かして音読させる。</td>
<td>色彩や香りなど、美しい表現、好きな表現について話し合う。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>7</td>
<td>○「漢字の組み合わせと意味」 本は友だち 「吉田大話」 「わたしたしのすすめるこの一冊」</td>
<td>2／8</td>
<td>こそあど言葉を正しく使わせる。音読を通じて、人物や場面の状況をつかませる。</td>
<td>二人組で会話する。</td>
<td>「わたしたしこのたからもの」</td>
</tr>
<tr>
<td>8</td>
<td></td>
<td>4／11</td>
<td>方言や民話の語り口を生かして、工夫して音読させる。紹介したい本を決め、その本のおもしろさを分かりやすく紹介させる。</td>
<td>二人組、グループなどで読み合う。</td>
<td>「見学したこと」</td>
</tr>
<tr>
<td>9</td>
<td>「夕立」</td>
<td>1／2</td>
<td>言葉の使い方、文が生み出すリズム感を味わわせる。</td>
<td>二人組、グループ等で資料を話し合い、聞き合う。</td>
<td>「夏休みの出来事」</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>◎(ニュースの時間です)</td>
<td>4／4</td>
<td>話す速度や間の取り方を工夫して、話の中心が分かるように話す。</td>
<td>二人組で、インターネット形式で話を進める。</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「文を組み立てる」 「グループ新聞作り」</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10</td>
<td>みんなで考えよう。「手と心で読む」</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>----</td>
<td>----------------------------------</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>10/18</td>
<td>自分の調べたことを場や相手に応じて発表させる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4/13</td>
<td>情景や人物の気持ちが表現できるように音読する</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>主題について考え、話し合わせる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>劇、紙芝居、インタビュー、展示等、発表の仕方を工夫する。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>調べたことを伝え合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>表現方法に気をつけ音読し合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>友達の考えと自分の考えをくらべながら聞き合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>11</td>
<td>いろいろな符号を書きたいことを整理して「けがのグラフから」</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2/14</td>
<td>生活の中の出来事や経験から気づいたことを発表し話し合わせる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>書きたいことをまとめた作文の発表会をする。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>一つの事柄について、わけを入れて話し合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>声の大きさや発表内容が分かりやすいか考え発表し合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「好きな本」</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>12</td>
<td>世界に目を向け「一本の鉛筆の向こうに」</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3/8</td>
<td>見たり聞いたり調べたりしたことをまとめた文章を発表させる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1/4</td>
<td>音読し詩のおもしろさを味わわせる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>お互いの詩を読み合わせる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>表や図にして分かりやすく伝え合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>言葉の意味を考え読み合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>お互いの詩をきき合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>人物の気持ちの動きを「こんぎつね」「学級しようかい」</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4/14</td>
<td>主人公の気持ちの移り変わりや場面の様子が分か るように音読させる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>4/5</td>
<td>小グループでテーマを決め、話し合わせる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>情景描写や会話などを理解して発表に生かす。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>話し合い方を理解するきっかけややすい話し方を出し合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>役割を決めて話し合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>文章の組み立てに『体を守るしくみ』</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2/10</td>
<td>課題をみつけて、調べて発表させる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2/12</td>
<td>敎室内外の出来事や活動を起こし、見る目を変えた見方、表現の仕方を話し合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>メモをとり、友だちに分かるように伝え合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>自分の見方、考え方がくらべながら聞き合い話し合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>「あらしの夜に」「演じてみよう」「だれかが星をみて いた」</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>8/19</td>
<td>場面の様子や人物の気持ち思い出しながら読む</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>1/2</td>
<td>劇を演じ合ったり見合ったりして楽しむようにさせる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>会話や動きを工夫して演じてみる。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>声の調子、色、大きさ、逆さ、間の取り方を工夫して演じ、発表会をする。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>聞き手にも工夫したことがよく伝わるように発表し合う。</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>「4年生ふりかえて」</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>